

仙台市地球温暖化対策推進計画【中間案】へのご意見について

○意見総数:52件(16名)

(1)全体に関するもの

No.	ご意見・ご提案等の概要	答申案(案)の該当頁	中間案の該当頁	ご意見への対応・考え方(案)等
1	具体的に誰がどのように行動し、目標を達成するのか、具体的で実行可能な方法論を示すべき。			市が主体となって進める施策について第4章で網羅的に示すとともに、特に重点的に取り組むものを第5章で示しています。また、第7章推進体制のとおり、第4章・第5章ともに市民・事業者の皆さまと協働して取り組む必要があることから、第6章で市民・事業者の皆さまに取り組んでいただきたい事項について、具体的な行動例と効果例を示しております。 第5章重点プロジェクトに掲げる施策を中心に、市民・事業者の皆さまと協働して取り組むことにより、目標の達成を目指します。
2	12月に開催されたCOP21でのパリ協定を契機に国内外においてその重要性が再認識されると思料される。このような中で仙台市としての推進計画を策定することは時機を得たものとする。			今後、COP21のパリ協定を達成すべく国を挙げて温暖化対策に取り組んでいくものと考えられます。市としましても、推進計画に従い、他の自治体・関係機関と連携しながら、目標の達成に向けた施策を進めてまいります。

(2)「第1章 計画改定の趣旨及び背景」に関するもの

No.	ご意見・ご提案等の概要	答申案(案)の該当頁	中間案の該当頁	ご意見への対応・考え方(案)等
3	COP21に関する記載を加えてはどうか。	11	11	11ページのコラムのCOP21の記載について、結果等に関する内容を追記しました。
4	単に電力量を削減すれば良いものではなく、電力も含めたエネルギー全体の効率的利用が重要であることから、「使用電力量の削減が温暖化対策の重要な鍵」という表現を「電力を含めたエネルギーの効率的利用が重要である」旨の表現としてはどうか。(3件)	13	13	いただいたご意見を踏まえ、表現を一部修正しました。

(3)「第3章 計画の目標」に関するもの

No.	ご意見・ご提案等の概要	答申案(案)の該当頁	中間案の該当頁	ご意見への対応・考え方(案)等
5	日本政府の約束草案の目標に国内外から不十分との意見があり、これを基準として策定された仙台市の温室効果ガス排出量の削減目標は不十分であって、削減目標を90年度比26%からバックキャストにより設定すべき。	27	27	本計画の目標につきましては、日本の約束草案で示された国の温室効果ガス排出削減対策と連携し、本市における取り組みを推進していくことを基礎としています。中間案の取りまとめに至る仙台市環境審議会および地球温暖化対策専門部会での審議において、実現性にも留意して着実に施策を推進していくことが重要とのご意見をいただいております。現在の目標は実現性を勘案しつつ、より高い目標を目指したものとなっております。
6	目標の設定にあたっては、将来の電力の排出係数の変動をどのように推計しているのか。	28	28	国の長期エネルギー需給見通しに基づく日本の約束草案の中に電力係数の変化が含まれているとして推計しております。
7	東北電力の排出係数を前提として推計しているのか。	28	28	電力の小売り自由化が開始され、他の事業者からの購入者が増える可能性があることから前述のように、国規模の前提を用いております。

(4)「第4章 実施施策」に関するもの

No.	ご意見・ご提案等の概要	答申案(案)の該当頁	中間案の該当頁	ご意見への対応・考え方(案)等
8	非住宅用建築物の断熱性能向上等に関する補助金制度を検討しているのか。(2件)	37	37	非住居用建築物のエネルギー性能や断熱性向上も重要と考えております。国の省エネ法改正の動きと合わせて、温室効果ガス排出量の少ない建築物が建築されるような仕組みを含めて検討を進めてまいります。
9	事業者が省エネ診断を受診しようとしても、本業が繁忙であることや、設備導入させられる懸念などの理由により、制度の利用が進んでいない。 取り組みやすい施策の実施をお願いしたい。	37	37	設備投資をしなくとも、運用面での省エネがコスト削減に直接つながることから、取り組みやすさやメリットの提示にも配慮して施策を推進してまいります。

(5)「第5章 重点プロジェクト 重点1 エネルギー自律型のまちづくり」に関するもの

No.	ご意見・ご提案等の概要	答申案(案)の該当頁	中間案の該当頁	ご意見への対応・考え方(案)等
10	「コージェネレーション」と「熱を熱で利用する太陽熱」の間に、「空気熱等を活用する高効率なヒートポンプの活用」を追加してはどうか。(2件)	45	45	該当部分については、エネルギー創出段階や未利用エネルギー活用を主眼に記載しております。高効率機器の活用に関しては前段(44ページ)や第4章施策体系以降に高効率(省エネ)機器を記載しております。
11	カーボンニュートラルで温室効果ガスの排出削減に貢献する薪・ペレットストーブの活用(購入補助金など)や、木質バイオマスボイラーの公共施設への導入などを重点1に盛り込んではどうか。	47 48	47 48	薪・ペレットストーブ、木質バイオマスにつきましては、仙台市内の森林資源が燃料として有効利用されることで輸送時の排出を含めた温室効果ガス排出量削減につながるものと考えております。いただいたご意見を踏まえ、仙台市内の森林資源が有効利用されるような施策を進めてまいります。

(6)「第5章 重点プロジェクト 重点2 低炭素な交通利用へのシフト」に関するもの

No.	ご意見・ご提案等の概要	答申案(案)の該当頁	中間案の該当頁	ご意見への対応・考え方(案)等
12	時間や場所を絞っての中心部への自動車流入規制などもう一步踏み込んだ施策を重点2に盛り込んではどうか。	49 50	49 50	いただいたご意見は、今後の実施施策検討の際の参考にさせていただきます。
13	自転車通行の法的ルールを市民に徹底し歩道を暴走する自転車をなくす施策を実施してほしい。	49 50	49 50	道路交通法を所管する宮城県警察等の関係機関や地域の方々と連携しながら、歩道の走行方法も含めた、自転車通行のルールの周知徹底を図ってきたところです。引き続き、関係機関も含めた市民協働によるルール遵守、マナーアップ等への取り組みを進めてまいります。

(7)「第5章 重点プロジェクト 重点3 快適な暮らしや地域経済を支える省エネ促進」に関するもの

No.	ご意見・ご提案等の概要	答申案(案)の該当頁	中間案の該当頁	ご意見への対応・考え方(案)等
14	一般住宅への太陽光パネル、窓(二重サッシ)等への助成を強化推進すべき。	51	51	一般家庭における熱をはじめとするエネルギーの有効活用および省エネルギーを推進するため、再生可能エネルギーの導入や断熱性能向上に係る普及啓発・支援に取り組んでまいります。
15	エネルギー効率の向上のためには、断熱改修とともに高気密化も有効であることから、「断熱改修等」の表現を「断熱改修、高気密化等」としてはどうか。	51	51	高気密化にあたっては、計画的な換気と併せての改修が必要であることから、既存住宅への適用は困難であると考えています。なお、住宅に係る省エネルギー基準において、当初記載されていた気密性の確保に係る定量的基準は、平成21年に除外されました。また、建築物省エネ法の参議院審議過程において、通風の良さ、床下を高くして湿気を逃がす構造といった地域の気候風土に対応した伝統的構法を評価できる基準とする必要性を国土交通省が示しています。今後、国の建築物省エネ基準の考え方にも留意しながら、本市における住宅のエネルギー効率向上施策を検討してまいります。
16	大きな省エネ設備だけでなく、家電製品の買い替えに対する補助や支援策の導入についても検討してはどうか。	51	51	一般家庭における熱をはじめとするエネルギーの有効活用および省エネルギーを推進できるよう普及啓発・支援に取り組んでまいります。
17	省エネ等設備投資への支援・優遇制度の対象に、省エネ性能の高いヒートポンプ給湯機も加えてはどうか。	51 52 74	51 52 73	重点3においては、これまで利用されてこなかったエネルギー(排熱、下水熱等)や、エネルギー変換損失が少ないエネルギー源(太陽熱等)に着目しながら、省エネ設備導入等を進めてまいりたいと考えております。
18	計画書制度については、国の制度との関係を整理し、事業者の負担軽減等も考慮いただきたい。また、事業所の運用形態も様々であることから、CO ₂ 削減量だけが評価されることのないよう、評価の観点にも配慮いただきたい。	51 52	51 52	今後の検討に当たりましては、国の制度との整合性や事業者の皆様の負担についても十分に考慮してまいります。また、評価の観点につきましても、市内には様々な業種の事業所が存在することを考慮のうえ、検討を進めてまいります。
19	公共工事における温室効果ガス排出量を削減するため、施工業者の施工段階におけるCO ₂ 削減についての技術提案を評価し加点する制度を導入してはどうか。(3件)	52	52	公共工事の実施にあたっては、事前に庁内で環境負荷低減について調整を行う環境調整システムを運用しているほか、仙台市市有建築物低炭素化整備指針や工事上の技術指針に基づき設計・発注を行っております。また、入札段階においては、みちのくEMSの導入事業者への加点制度がありますが、施工段階の取り組みを評価・加点する仕組みについては、今後の実施施策検討の際の参考にさせていただきます。
20	事業者の環境への取り組みが進んでいないことが大きな課題であり、官民一体となって取り組んでいかなければならない。	51	51	事業者の皆様に、省エネが直接的にコスト削減につながることを訴え、事業活動の中に省エネが組み込まれるような仕組みを検討してまいります。
21	ある大手企業ではグリーン購入からさらに踏み込みカーボンフリーの原料調達への切り替えを検討していると聞いた。ものづくりにおいてもCO ₂ 削減必須の社会になり、それを見越して改善を行った企業が生き残るという話を聞いたので、参考としてほしい。	51	51	いただいたご意見は、今後の実施施策検討の際の参考にさせていただきます。

(8)「第5章 重点プロジェクト 重点5 杜を守り、杜に護られる仙台」に関するもの

No.	ご意見・ご提案等の概要	答申案(案)の該当頁	中間案の該当頁	ご意見への対応・考え方(案)等
22	水に不便な台地に四ツ谷用水を導水して城下の水路に流下させることにより地下水を涵養して生活用水(井戸)とし、地表面近くで浸透した水で豊かになった水環境が樹木を育て「杜の都」が創造された。四ツ谷用水と台地の地盤構造によって造りだされた城下の水システムを都市政策として反映してはどうか。	55	55	水循環の維持・保全是、気候変動影響への適応の面から重要な課題であると考えており、いただいたご意見も参考にしながら引き続き施策を進めてまいります。
23	定禅寺通りを休日などの一定時間歩行者天国として自動車の排ガスからケヤキ並木を守り市民が親しむ時間を増やすなどの施策を検討してはどうか。	55 56	55 56	いただいたご意見は、今後の実施施策検討の際の参考にさせていただきます。
24	仙台駅周辺など中心市街地もこれ以上のヒートアイランド化をさけるために開発に規制をかけ、街路樹を植えていくような緑化策を盛り込んでどうか。	55 56	55 56	緑化策については、一定規模以上の開発における緑化計画書の提出・認定の義務付けや、緑化に関する助成等を行っており、取組内容③に含めております。いただいたご意見も参考にしながら引き続き施策を進めてまいります。

(9)「第5章 重点プロジェクト 重点6 せんだいE-Action」に関するもの

No.	ご意見・ご提案等の概要	答申案(案)の該当頁	中間案の該当頁	ご意見への対応・考え方(案)等
25	「子供に重点を置いた環境教育・学習と連携し」とあるが、連携というより、「省エネ、創エネ、蓄エネ」のプログラム等を作り、学校を巻き込んだりしたりしていくことも必要だと感じます。	57	57	いただいたご意見は、今後の実施施策検討の際の参考にさせていただきます。
26	大学等とももっと連携を図ることができると考えます。	57	57	いただいたご意見は、今後の実施施策検討の際の参考にさせていただきます。
27	せんだいE-Actionとせんだい環境フォーラムのイベントがコラボして、お互いのイベントを盛り上げていってはどうか。	57	57	いただいたご意見は、今後の実施施策検討の際の参考にさせていただきます。
28	せんだいE-Actionをはじめ仙台市環境局の取り組みは素晴らしいと思うので、これからも続けて欲しい。	57	57	市民の皆さまに環境について考え、実践する意識を持っていただけるよう、今後とも魅力的なイベント等の施策を進めてまいります。
29	小学生への環境教育の中でフードマイレージに関する内容を実施した際、子どもたちの反響は大きかったが、親までその効果が波及しなかった例があり、難しいと感じた。	57	57	いただいたご意見は、今後の実施施策検討の際の参考にさせていただきます。
30	値段や様々な要因を優先に地場産品以外を選択する消費者もおり課題はあるが、市役所食堂や給食の献立に地場産品の表示や削減量の記載を行い、少しずつ効果を広げる取り組みはできるのではないかと。	57	57	いただいたご意見は、今後の実施施策検討の際の参考にさせていただきます。

(10)「第6章 行動の指針」に関するもの

No.	ご意見・ご提案等の概要	答申案(案)の該当頁	中間案の該当頁	ご意見への対応・考え方(案)等
31	なぜ地場産品を使うことがよいかの説明や、地場産品を買うとどれだけ省エネになるか数字を示すことができると消費者の意識の変化につながるのではないかと。店舗においても低炭素な地場産品を購入したい消費者が買い求めやすいような表示が進んだり、取り組んでいる店舗の紹介があるとよい。	57 63 69	57 63 68	64ページのコラムにフードマイレージの試算を掲載しているのに加え、地場産品が低炭素な商品であるPR、地場産品の表示や削減量の「見える化」の推進などについて、今後の実施施策検討の際の参考にさせていただきます。
32	第6章で市民の取り組みについて具体的な数字や豊富な例示が記載されており、わかりやすい。	61	61	
33	エネルギー効率の向上のためには、断熱改修とともに高気密化も有効であることから、「新築・改築の機会」における「省エネ型」の表現を「省エネ(高断熱・高気密)」としてはどうか。(2件)	65	65	省エネ型の住宅の特性は高断熱・高気密に限定されるものではないため、包括的に「省エネ型」の表現としております。
34	事業者が温室効果ガスの排出を確実に抑制していくには、業種の特性に合った取り組みも必要と考え、例えば「(4)業種の特性に合わせた対策を進める」といった項目を起し、宮城県が策定した「事業者のための環境配慮行動指針(第2版)」(平成20年3月)から地球温暖化対策に関わる内容を記載してはどうか。	67～75	67～73	取り組みの事例につきましては、最新の事例が紹介されている省エネルギーセンターのホームページ上の一部を抜粋したものであり、当該ホームページには業種毎に多数の最新事例が掲載されておりますので、そちらを参照いただくような文言に修正を致します。
35	「燃料転換の機会を捉える」において選択肢を増やす観点から、温泉排湯利用ヒートポンプ給湯機の導入効果の例を追加してはどうか。(2件)	75	73	いただいたご意見を踏まえ、事例を追加しました。

(11)「第7章 計画の推進」に関するもの

No.	ご意見・ご提案等の概要	答申案(案)の該当頁	中間案の該当頁	ご意見への対応・考え方(案)等
36	温室効果ガスの排出抑制対策は地球規模の環境問題であり、国、宮城県、他自治体と協調・連携を図りつつ対策を講じていくべき。特に県とは二重行政回避の観点からも緊密な連携をお願いしたい。	77	75	国・県・関係機関とも情報交換や協議を密に行い、協働して温暖化対策の施策を進めてまいります。

(12)その他のもの

No.	ご意見・ご提案等の概要	答申案(案)の該当頁	中間案の該当頁	ご意見への対応・考え方(案)等
37	子供たちが工夫して、ものを使う姿勢や、再利用できる可能性を実感していただき、また、親世代の方々にもそのような意識を再度持っていただけたら良い。環境に対して、個の単位で意識を持たせることが大切。			ご意見のとおり、子どもから親世代まで、市民の方々一人ひとりが環境について考え、実践していくことが重要と考えます。市民の皆さまに環境について考え、実践する意識を持っていただけるよう、今後ともイベント・キャンペーンによる普及啓発を進めてまいります。
38	地球温暖化に最も影響を与える化石燃料からCO ₂ の大幅な削減となる新燃料を提案する。	35 37 39	35 37 39	いただいたご意見は、今後の実施施策検討の際の参考にさせていただきます。
39	その他表現の修正に関する意見(6件) 「うちエコ診断」の注釈修正 ほか			いただいたご意見を踏まえ、表現を一部修正致します。